

2020年度 決算説明会

2021年4月28日
株式会社村田製作所



当決算説明会のトピックス(1/2)

- 2020年度の売上高は、コンデンサなどが増加し、前期比+6.3%の1兆6,302億円。営業利益も前期比+23.7%の3,132億円となり、売上高、営業利益ともに過去最高を更新。
- 業績予想比で売上高+3.8%、営業利益+8.0%の上振れ。当第4四半期にはスマートフォン市場での生産調整は見られず、また、自動車市場で部品取り込みの動き。
- 2020年度の期末配当金を従来予想比で5円増配、1株あたり60円を予定。

2020年度決算のトピックスでございます。

第3四半期の決算説明会にて、当第4四半期ではスマートフォン市場において生産調整反動のリスクが高いと申し上げておりましたが、杞憂に終わったということでございます。

また、自動車市場での部品取り込みの動きも見られまして、当第4四半期の予想に比べて、実績は大きく上振れました。

結果、2020年度、当社の売上高、利益につきましては、過去最高を更新いたしました。

当決算説明会のトピックス(2/2)

- 2021年度の業績は、前期比で売上高+1.8%、営業利益+2.2%と増収増益を予想。スマートフォン市場や自動車市場で一時的な在庫調整が予想されるものの、生産台数の着実な回復により過去最高の更新を計画。
- モジュールの売上は、スマートフォンの設計変更などにより減収を見込む。
- 2021年度の設備投資は、建物等の取得が大きく減少、能力増強投資、合理化投資を中心に1,600億円を計画。
- 2021年度の年間配当金は1株あたり120円（中間配当金60円、期末配当金60円）と前期比で5円の増配を予定。

2021年度の業績予想についてのサマリーでございます。

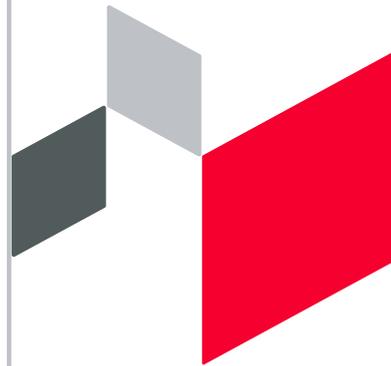
2020年度までのスマートフォン市場、あるいは自動車市場の動きから、2021年度では一度、一時的な在庫調整が起こるのではないかと予想をしております。

また、自動車生産台数についても半導体の調達難などから、一定の影響が出るのではないかと危惧をしております。このような前提のもと、2021年度の業績を予想しております。

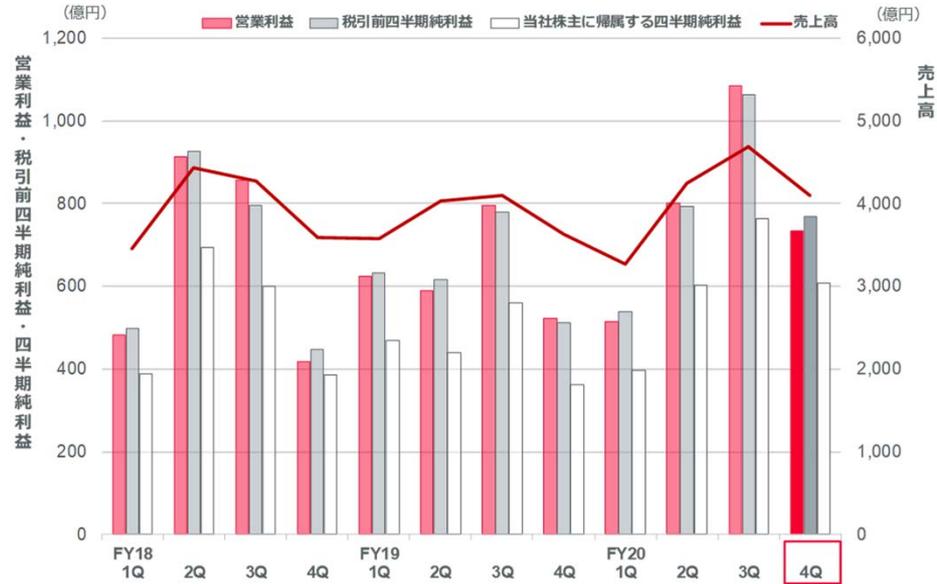
また、スマートフォン向けのモジュールにつきましては、売上の減少を当社では見込んでおりますけれども、スマートフォン、自動車につきましては、生産台数が一定増加、回復するという予想のもと、2021年度の連結業績につきましては、売上、利益ともに2年連続での過去最高を更新という予想をしております。

2020年度 業績概要

2020年4月～2021年3月
連結累計期間



業績推移（四半期）



Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

5

四半期別の業績の推移でございます。

第4四半期につきましては、先ほどご説明差し上げましたとおり、予想よりも上振れました。第4四半期は、通常季節要因で大きな落ち込みをするのですが、今期につきましては中華圏スマホの部品取り込みが継続したこと、あるいは自動車市場での部品取り込みが行われました。

為替につきましても、当初、1USドル102円と予想しておりましたが、106円程度で推移したということもありまして、売上、利益ともに予想を大きく上振れました。

業績概況 (2020年度通期)

	2019年度 通期		2020年度 通期		増減	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上高	15,340	100.0	16,302	100.0	+961	+6.3
営業利益	2,532	16.5	3,132	19.2	+600	+23.7
税引前当期純利益	2,540	16.6	3,164	19.4	+624	+24.6
当社株主に帰属する 当期純利益	1,830	11.9	2,371	14.5	+540	+29.5
ROIC(税引前) (%)	16.1		18.5		+2.4	
為替 (円/USD)	108.75		106.06			

- 売上高は、コンデンサが幅広い用途で堅調であったことに加え、インダクタやコネクティビティモジュールがPC向けで増加し、また、高周波モジュールがスマートフォン向けで増加。
- 値下がりや円高などの減益要因はあったものの、生産高増加に伴う操業度益やコストダウンなどにより増益。
- 売上高と各利益は過去最高を更新。

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

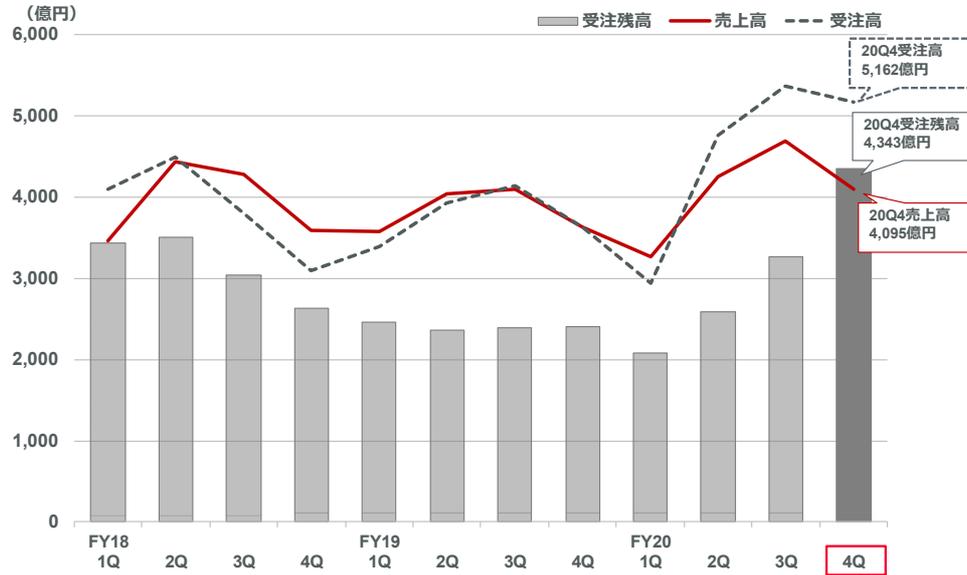
6

2020年度の業績概況、前年度との比較でございます。

売上高は、1月に予想した水準に比べまして、3.8%の増加となりました。スマートフォン向けの在庫調整が発生せず、部品取り込みの動きが継続し、自動車向けでも同様の動きがございました。このような結果、予想を大きく上回ったものでございます。

売上・受注・注残推移（四半期）

前四半期比で売上が減少したのに対し、受注は高水準が継続し、注残は過去最高となった。



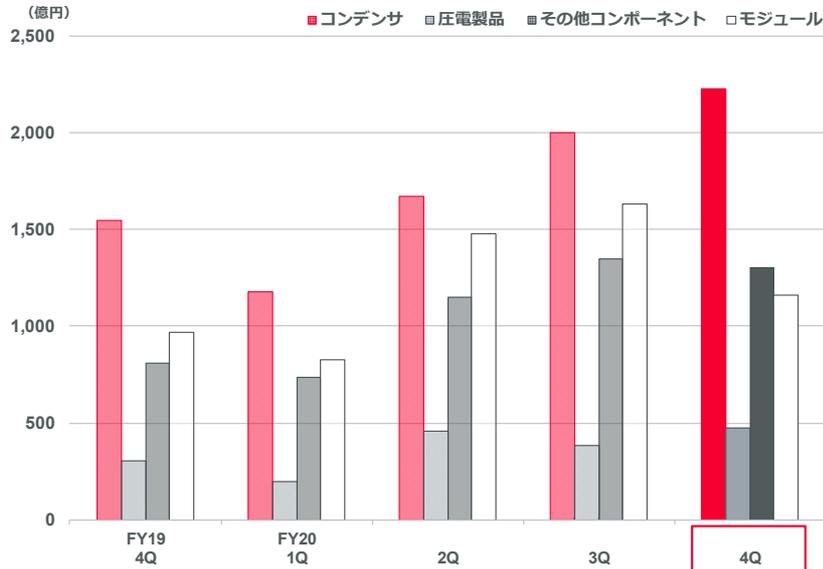
Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

7

売上・受注・注残の推移でございます。四半期別の推移を示しております。直前の四半期であります第3四半期では、過去最高の受注高、5,364億円という水準でございました。第4四半期、季節要因もございましたけれども、引き続きかなり強い水準でございまして、受注高としては5,162億円となりました。受注残高につきましても、4,343億円と、過去最高の水準になっております。

製品別受注高推移

モジュールがスマートフォン向けの季節性で減少したものの、コンデンサがPC関連機器やカーエレクトロニクス向けで増加し、高水準が継続。



Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

8

四半期別の製品別受注高推移でございます。

第4四半期の受注水準につきましては、コンデンサ、圧電製品が季節要因もありながら、非常に大きく伸びたというところでございます。

コンデンサは、サーバー、データストレージ向け、あるいは自動車向けでの増加がございました。

メトロサークやコネクティビティモジュール、高周波モジュールといったモジュール製品を中心に、季節要因もありハイエンドスマートフォン向けの受注はかなり減少しましたが、そのような結果、会社全体としては第3四半期に比べて少し受注が減少したということでございます。

製品別売上高（2020年度通期）

	2019年度 通期		2020年度 通期		増減	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
コンデンサ	5,594	36.6	6,265	38.5	+671	+12.0
圧電製品	1,293	8.4	1,293	8.0	+0	+0.0
その他コンポーネント	3,630	23.7	3,876	23.8	+246	+6.8
モジュール	4,786	31.3	4,841	29.7	+55	+1.1
製品売上高計	15,303	100.0	16,276	100.0	+972	+6.4

製品別の売上高でございます。

製品別には、圧電製品とモジュールは横ばいないしは微増で、コンデンサとその他コンポーネントが大きく増加いたしました。

コンデンサ (前期比+12.0%)	○チップ積層セラミックコンデンサ (MLCC) PC及び関連機器向けが大きく増加し、また、スマートフォン向けやカーエレクトロニクス向けも旺盛な部品取り込みの動きが見られ増加
圧電製品 (前期比 横這い)	○表面波フィルタ IoT機器向けで増加 ▲圧電センサ カーエレクトロニクス向けで減少
その他コンポーネント (前期比+6.8%)	○インダクタ・コネクタ PC向けやスマートフォン向けで増加 ▲リチウムイオン二次電池 事業ポートフォリオ見直しを進めている影響でスマートフォン向けで減少
モジュール (前期比+1.1%)	○高周波モジュール スマートフォン向けで増加 ○コネクティビティモジュール スマートフォン向けで減少したものの、PC向けが増加し、全体として増収 ▲樹脂多層基板 スマートフォン向けで減少

コンデンサ、その他コンポーネントが大きく伸びております。

また、圧電センサ、リチウムイオン二次電池、樹脂多層基板など、減少したものもございますが、MLCCや表面波フィルタ、高周波モジュール等がそのマイナスを補って、全体としてはプラスになったという状況でございます。

用途別売上高（2020年度通期）

	2019年度 通期		2020年度 通期		増減	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
AV	610	4.0	719	4.4	+108	+17.8
通信	7,922	51.8	8,049	49.5	+128	+1.6
コンピュータ及び関連機器	2,305	15.0	2,915	17.9	+610	+26.5
カーエレクトロニクス	2,635	17.2	2,732	16.8	+97	+3.7
家電・その他	1,831	12.0	1,861	11.4	+30	+1.6
製品売上高計	15,303	100.0	16,276	100.0	+972	+6.4

(注) 当社推計値に基づいております

用途別の売上高でございます。

全ての用途で、前年に比べまして売上高が増加しております。巣ごもり需要等の影響でゲーム機、PC等が増加しております。このような結果、AV市場、あるいはカーエレクトロニクス市場の売上が増加しております。

さらに、サーバー向け、データストレージ向けなどの売上也伸長したということで、コンピュータ及び関連機器の売上也増加しているということでございます。

用途別売上高概況 [2019年度→2020年度]

AV (前期比+17.8%)	<ul style="list-style-type: none"> ○巣ごもり需要を背景にゲーム機向けにリチウムイオン二次電池や積層セラミックコンデンサが増加 ▲デジタルカメラ向けにコネクティビティモジュールやリチウムイオン二次電池が減少
通信 (前期比+1.6%)	<ul style="list-style-type: none"> ○スマートフォン向けに積層セラミックコンデンサや高周波モジュールが増加 ○ウェアラブル機器向けに積層セラミックコンデンサやコネクタが増加 ▲基地局向けに積層セラミックコンデンサが減少
コンピュータ及び関連機器 (前期比+26.5%)	<ul style="list-style-type: none"> ○リモートワークやオンライン教育によるPC需要の高まりを受け、積層セラミックコンデンサやコネクティビティモジュール、インダクタが大きく増加 ○サーバーやデータストレージ向けに積層セラミックコンデンサが増加
カーエレクトロニクス (前期比+3.7%)	<ul style="list-style-type: none"> ○自動車の生産台数が減少したものの、今後の生産増加に備えた部品の取り込みが見られ、積層セラミックコンデンサが増加

(注) 当社推計値に基づいております

用途別の売上高の増減の理由でございます。

		2019年度		2020年度		増減	
		累計 (億円)	(%)	累計 (億円)	(%)	(億円)	(%)
コンポーネント	売上高	10,983	100.0	11,754	100.0	+771	7.0
	事業利益	2,497	22.7	3,130	26.6	+633	25.4
モジュール	売上高	4,786	100.0	4,841	100.0	+55	+1.1
	事業利益	494	10.3	543	11.2	+48	+9.8
その他	売上高	592	100.0	611	100.0	+18	3.1
	事業利益	57	9.7	78	12.7	+21	36.1
消去又は本社部門	売上高	▲ 1,021	-	▲ 904	-	+118	-
	本社部門費	▲ 516	-	▲ 618	-	▲ 103	-
連結	売上高	15,340	100.0	16,302	100.0	+961	6.3
	営業利益	2,532	16.5	3,132	19.2	+600	23.7

- ・ **コンポーネント** コンデンサやインダクタの売上が増加したことや、前期の減損損失(▲198億円)計上の反動による固定費減などにより増収増益
- ・ **モジュール** 樹脂多層基板がスマートフォン向けで減少したものの、高周波モジュールがスマートフォン向けで、コネクティビティモジュールがPC向けで増加し、増収増益

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

13

セグメント情報でございます。

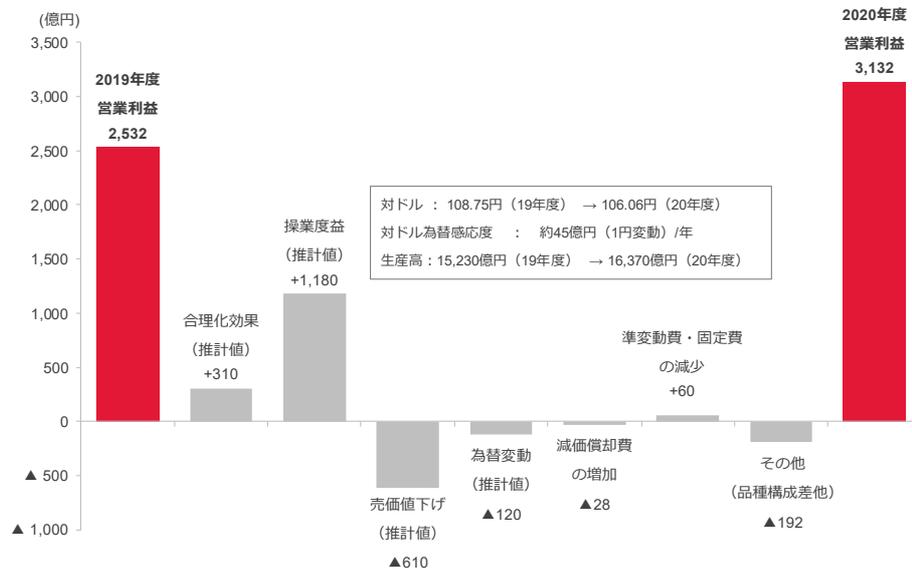
コンポーネントの前年比での売上の増加は7%でございました。利益の増加額が売上の増加に比べて大きくなっておりませんが、これは昨年度、電池事業における減損損失、約200億円を計上したことの反動によるものでございます。

モジュール事業の損益につきましては、メトロサークが当年度、ハイエンドスマートフォン向けで減少しておりますが、高周波モジュール、あるいはコネクティビティモジュールがスマートフォン向けやPC向けで増加いたしました。

このような結果、モジュール事業としては増収増益となっております。

消去又は本社部門というところで、本社部門費が約103億円増加をしております。これは昨年度、貴金属の売却益がありました。約78億円になります。その他、当年度に入りまして、みなとみらいイノベーションセンターの開所等の影響によりまして、少し費用が増加している理由によるものでございます。

利益変動要因 [2019年度→2020年度]



※操業度損益は売値下げ・為替変動の影響を除いた生産高をもとに計算しております。
 ※準変動費・固定費の増減には、減損損失等の一時費用の影響が含まれております。
 ※その他(品種構成差他)には、2019年度に発生した貴金属売却益の反動による利益の減少が含まれております。

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

14

2019年度から当年度にかけての利益変動要因でございます。

操業度益、合理化効果、売値下げ等の理由によりまして、このような形になっております。若干、その他というところ、品種構成差等の数値が大きくなっております。先ほども申し上げました原材料の売却益78億円によるもの、あるいは全社でのプロダクトミックスの悪化であるとか、個別商品の中での採算悪化というようなものにより、若干の品種構成差の影響が大きくマイナスに出ていることによるものでございます。

キャッシュフロー

	2019年度 通期 (億円)	2020年度 通期 (億円)	増減 (億円)
営業活動によるキャッシュフロー	3,503	3,736	+232
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 2,844	▲ 1,503	+1,342
財務活動によるキャッシュフロー	177	▲ 1,182	▲ 1,358
為替変動による影響	10	3	▲ 7
現金及び同等物残高	3,023	4,077	+1,054
フリーキャッシュフロー	659	2,233	+1,574
固定資産の取得	▲ 2,859	▲ 1,999	+861
減価償却費	1,403	1,431	+28

- 増益と設備投資の減少により、フリーキャッシュフローが増加
- フリーキャッシュフローを原資に、配当の増額、借入の返済を実施

キャッシュフローにつきましては、設備投資額、固定資産の取得というところですが、下から2行目、861億円のキャッシュフロー改善になっております。設備投資額が減少したということがございます。

また、財務活動によるキャッシュフローが大きく改善しております。こちらは、当期は社債を発行しておりませんが、前期500億円発行したということ。あるいは当期では510億円の借入金返済を行った影響によりまして、財務活動によるキャッシュフローが大きく変動しているということがございます。

これらに加えまして、営業活動によるキャッシュフロー、232億円改善しておりまして、全体では現金及び同等物残高が1,054億円増加したという内容でございます。

2021年度 業績予想

(2021年4月～2022年3月)



muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS

2021年度 業績予想

	2020年度 実績		2021年度 通期予想		増減			
	(億円)	(%)	上期予想 (億円)	下期予想 (億円)	(億円)	(%)		
売上高	16,302	100.0	8,470	8,130	16,600	100.0	+298	+1.8
営業利益	3,132	19.2	1,570	1,630	3,200	19.3	+68	+2.2
税引前当期純利益	3,164	19.4	1,580	1,640	3,220	19.4	+56	+1.8
当社株主に帰属する 当期純利益	2,371	14.5	1,180	1,220	2,400	14.5	+29	+1.2
ROIC(税引前) (%)	18.5				17.9		▲0.6	
為替 (円/USD)	106.06				107.00			

- ・ モジュールがスマートフォンの設計変更などで減少するものの、コンデンサがカーエレクトロニクス向けおよびスマートフォン向けで増加、前期比増収を予想。
- ・ 値下がりや生産関連費用の増加などの減益要因はあるが、生産高増加に伴う操業度益やコストダウンなどにより、前期比増益を計画。

2021年度の業績予想でございます。

売上高は2020年度に比べて1.8%の増収を計画しております。スマホ向けのモジュール製品につきましては、2020年度に比べて大幅な売上減少となります。しかし、全体では自動車の生産台数回復、あるいはスマホ各社の旺盛な部品取り込み、5Gスマホの増加などの要因がございまして、コンデンサ、あるいはインダクタという売上が大幅に増加する見込みです。

生産高につきましても2.6%の増加を見込んでおります。特に上期から下期にかけて売上の減少を見込んでおりますが、生産高は高水準が続き、在庫の積み上げを計画しております。

値下げの進行は一定計画されておりますけれども、操業度益や合理化効果によりまして、2020年度に比べて2.2%の営業利益増を計画しております。

部品需要予測

	2020年度 実績	2021年度 予想	(部品取り込みベース) 増減	
スマートフォン	14.5 億台	15.2 億台	+5%	↗
PC	4.7 億台	4.6 億台	▲1%	↘
デスクトップ	0.7 億台	0.7 億台	▲2%	↘
ノートブック	2.1 億台	2.1 億台	横這い	→
タブレット	1.8 億台	1.8 億台	▲2%	↘
自動車	7,600 万台	8,500 万台	+11%	↗

(注) 自動車は生産台数ベース

- **スマートフォン** 前期に販売台数を上回る部品取り込みが見られたため、販売台数の伸びは下回るものの、部品需要が着実に増加
- **PC** リモートワークやオンライン教育を背景に高水準の需要が継続
- **自動車** 半導体の調達難はあるが、COVID-19による落ち込みから大幅に回復

2021年度の部品需要予測でございます。

PC関係につきましては、2020年度が非常に好調であったことから、若干のマイナスを見込みますが、スマートフォン、自動車につきましては、それぞれ5%、11%という形で部品取り込み台数、あるいは生産台数の増加を見込んでおります。

	2020年度 実績 (前期比)	2021年度 予想 (前期比)
コンデンサ	+12%	+11%程度
圧電製品	横這い	▲2%程度
その他コンポーネント	+7%	+11%程度
モジュール	+1%	▲15%程度
製品売上高計	+6%	+2%

製品別の売上予想になります。

圧電製品につきましては、2%のマイナスを見込んでおります。20年度の着地が非常に好調であったことで、21年度には少し反動が出るという見込みでございます。また、値下げの進行も一定予想されますので、2021年度はマイナス成長と見ております。

モジュールにつきましては、スマートフォン向けの売上が大きく減少するという一方で、15%のマイナスを見込んでおります。

コンデンサ及びその他コンポーネントにつきましては、自動車の生産台数の回復、あるいはスマホ各社での部品の取り込みが好調であるという見込みのもと、前期比2桁での増加を見込んでおります。

特に、その他コンポーネントにつきましては、電動工具向けの引き合いが非常に強いということで、電池の増加も見込まれております。

製品別売上予想 [2020年度→2021年度予想]

コンデンサ (前期比 + 1.1%程度)	○チップ積層セラミックコンデンサ (MLCC) 台数の増加と、5G化や電装化の進展により、スマートフォン向けやカーエレクトロニクス向けで増加
圧電製品 (前期比 ▲ 2%程度)	▲表面波フィルタ 前期に販売台数を上回る部品取り込みが見られたため、当期はスマートフォン向けで減少
その他コンポーネント (前期比 + 1.1%程度)	○リチウムイオン二次電池 パワーツール向けで増加 ○インダクタ スマートフォン向けやカーエレクトロニクス向けで増加
モジュール (前期比 ▲ 1.5%程度)	▲コネクティビティモジュール 事業ポートフォリオ見直しを進め、付加価値の低いビジネスを縮小 ▲高周波モジュール・樹脂多層基板 スマートフォン新モデルの設計変更や、スマートフォンメーカーの市場シェア変動により減少

用途別売上予想

	2020年度 実績 (前期比)	2021年度 予想 (前期比)
AV	+18%	▲5%程度
通信	+2%	▲3%程度
コンピュータ及び関連機器	+27%	▲1%程度
カーエレクトロニクス	+4%	+14%程度
家電・その他	+2%	+10%程度
製品売上高計	+6%	+2%

(注) 当社推計値に基づいております

AV向け、通信市場、あるいはコンピュータ関連機器というところは、若干2020年度に比べて売上の減少を見込んでおりますが、車関係及び電動工具を含む家電・その他というところでプラスになる、全体としては約2%の売上増を見込んでおります。

業績予想の前提

	2020年度 実績	2021年度 予想
減価償却費	1,431 億円	1,480 億円
研究開発費	1,017 億円	1,040 億円
設備投資額	1,967 億円	1,600 億円
為替レート(USD)	106.06 円/USD	107.00 円/USD
為替レート(EUR)	123.70 円/EUR	128.00 円/EUR

【対ドル為替感応度(1円変動/年)】

売上 2020年度：約90億円 → 2021年度：約110億円

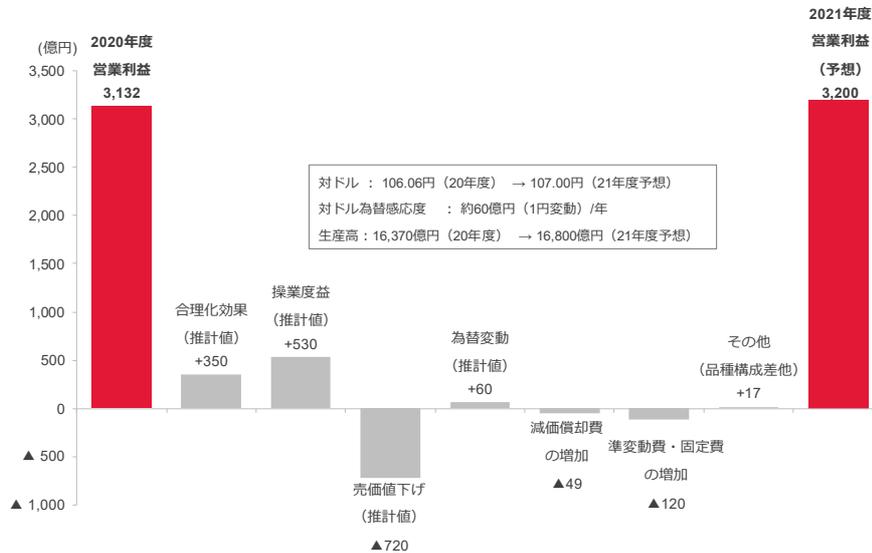
営業利益 2020年度：約45億円 → 2021年度：約60億円

業績予想の前提を示しております。

設備投資額につきましては、2020年度に比べ約400億円の減少の計画でございます。

研究開発費、減価償却費は若干の増加を計画しております。

利益変動要因 [2020年度→2021年度予想]

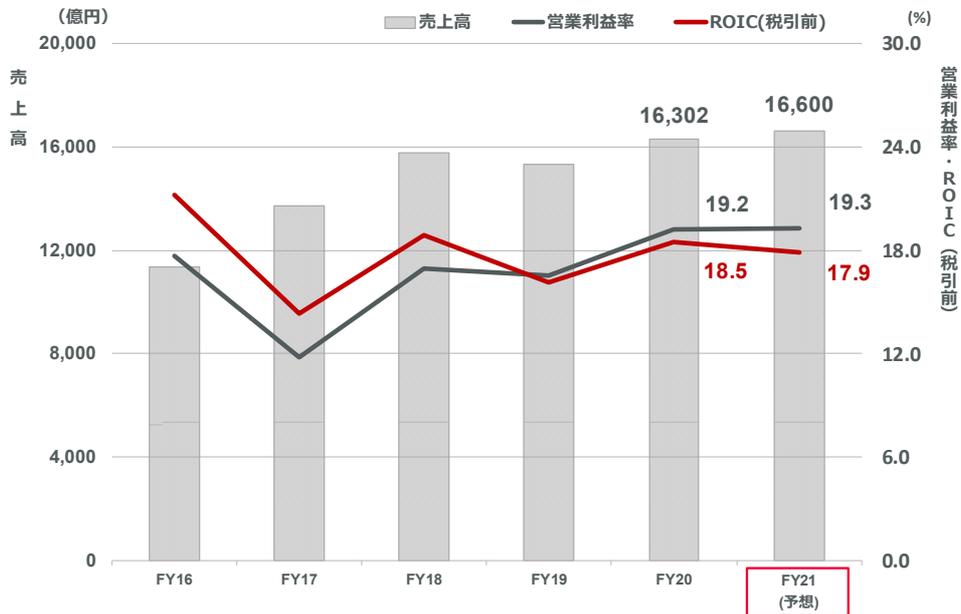


※操業度損益は売値値下げ・為替変動の影響を除いた生産高をもとに計算しております。
 ※標準変動費・固定費の増減には、減損損失等の一時費用の影響が含まれております。

利益変動要因でございます。

生産の増大、売上の増大に伴いまして、生産関連費用の増加が見込まれます。標準変動費・固定費の増加、120億円のマイナス影響と見ておりますが、20年度に、固定費につきましては、一部新型コロナの影響で抑制されたものもございます。そのような関係で、少し固定費につきましては増加の影響が出るものと見込んでおります。

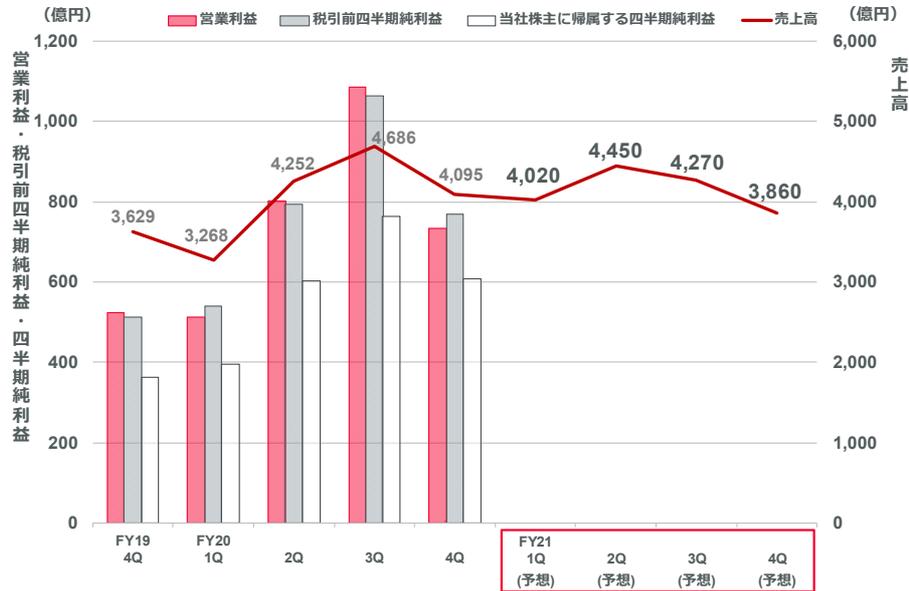
業績推移（通期）



21年度までの売上の推移及び売上高、営業利益率、税引前のROICの推移でございます。

ROICにつきましては、残念ながら21年度若干悪化します。投下資本が少し増加すること
 ということで、営業利益率は改善するものの、ROICは若干悪化の見込みでございます。
 引き続き資本効率の向上を含めたROICの改善に取り組んでまいります。

業績推移（四半期）



Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

25

四半期別の業績推移の状況でございます。

操業度でございますが、コンデンサにつきまして、20年度第4四半期では95%前後、27日稼働ベースでございました。第3四半期から同じような水準でございます。

21年度につきましても、同じく27日稼働ベースで、上期、下期ともに95%程度で見込んでおります。

また、製造高につきましてはですが、2020年度第4四半期、4,140億円、若干の在庫積み増しになっております。2021年度では第1クォーターから順に4,150億円、4,300億円、4,300億円、4,050億円と、下期で若干在庫を積み増す予定でございます。

- 2021年度（2022年3月期）の配当（予定）
1株当たり年間120円
（中間配当60円／期末配当60円）
※年間配当を前年度比5円増配

- 2020年度（2021年3月期）の配当
1株当たり年間115円
（中間配当55円／期末配当60円）
※期末配当を従来予想比5円増配

※当配当は現時点での事業環境予測及び業績予想に基づくものであります

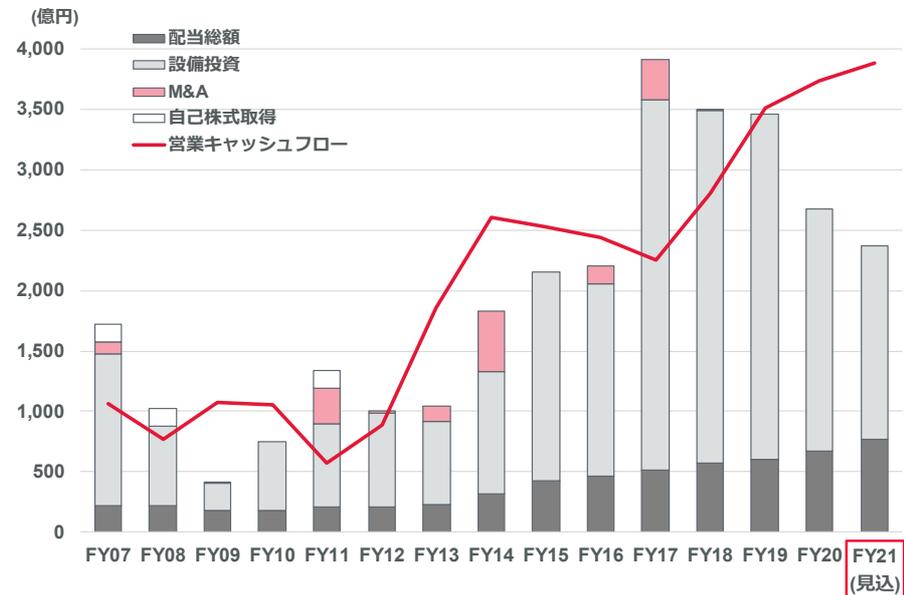
配当の予定でございます。

2020年度につきましては、期末配当を従来予想比5円の増配という計画でございます。
2021年度につきましては、2020年度に比べて、同じく年間5円の増配を計画しております。

キャッシュフロー

muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS

- 20年度は投資が減少、営業キャッシュフローを原資に配当を増額、借入を返済
- 21年度も投資は減少、配当の増額と社債の償還を計画



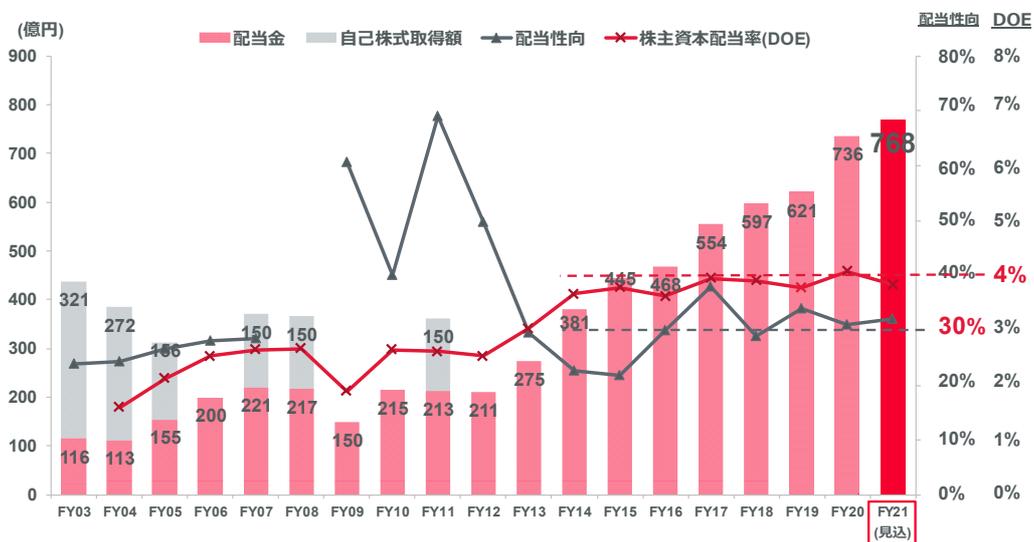
27

キャッシュフローでございます。

2021年度につきましては、2020年度に比べ設備投資が約400億円減少します。利益的にも最高益を更新する計画ということで、配当の増額と社債の償還を計画しております。

株主還元推移

- **配当** 配当の安定的な増加を基本方針としており、中期的に配当性向30%程度を目安にDOE4%以上を実現
- **自己株式取得** 株主還元の手段として、資本効率の改善を目的に適時実施



Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

28

株主還元の推移でございます。
現在の2021年度業績予想に基づく配当性向、DOEにつきましては、それぞれ30%強、4%弱と、これまで当社の配当政策としてアナウンスしております水準とほぼ同水準の計画をしております。

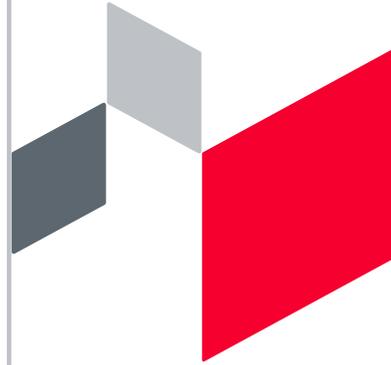
当資料に記載されている、当社又は当社グループに関する見通し、計画、方針、戦略、予定、判断などのうち既に確定した事実でない記載は、将来の業績に関する見通しです。将来の業績の見通しは、現時点で入手可能な情報と合理的と判断する一定の前提に基づき当社グループが予測したものです。実際の業績は、さまざまなリスク要因や不確実な要素により業績見通しと大きく異なる可能性があり、これらの業績見通しに過度に依存しないようお願いいたします。また、新たな情報、将来の現象、その他の結果に関わらず、当社が業績見通しを常に見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えるリスク要因や不確実な要素には、以下のものが含まれます。(1)当社の事業を取り巻く経済情勢、電子機器及び電子部品の市場動向、需給環境、価格変動、(2)原材料等の価格変動及び供給不足、(3)為替レートの変動、(4)変化の激しい電子部品市場の技術革新に対応できる新製品を安定的に提供し、顧客が満足できる製品やサービスを当社グループが設計、開発し続けていく能力、(5)当社グループが保有する金融資産の時価の変動、(6)各国における法規制、諸制度及び社会情勢などの当社グループの事業運営に係る環境の急激な変化、(7)偶発事象の発生、などです。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

当資料に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。

Thank you



補足



muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応

<当社グループにおける感染防止取り組み（一例）>

- ・ マスク着用義務化
- ・ 入棟時の手指消毒、サーモグラフィによる検温の実施と記録
- ・ 社内行動履歴の記録
- ・ 食堂の横並び席及び個別仕切り席への変更、喫食席の記録（QRコードをモバイル機器で読み取って登録）
- ・ 会議のオンライン化
- ・ 執務室のディスタンス確保、飛沫防止用衝立の設置
- ・ 出張、懇親会、イベント等の自粛

感染防止策の徹底により、生産への影響はほぼ無し

当社およびグループ会社は、今後も地域住民の皆さま、お客さま、お取引先さま、および全従業員の健康と安全を最優先に考え、政府の方針や行動計画に基づき、引き続き感染予防・感染拡大防止に取り組んでいきます。

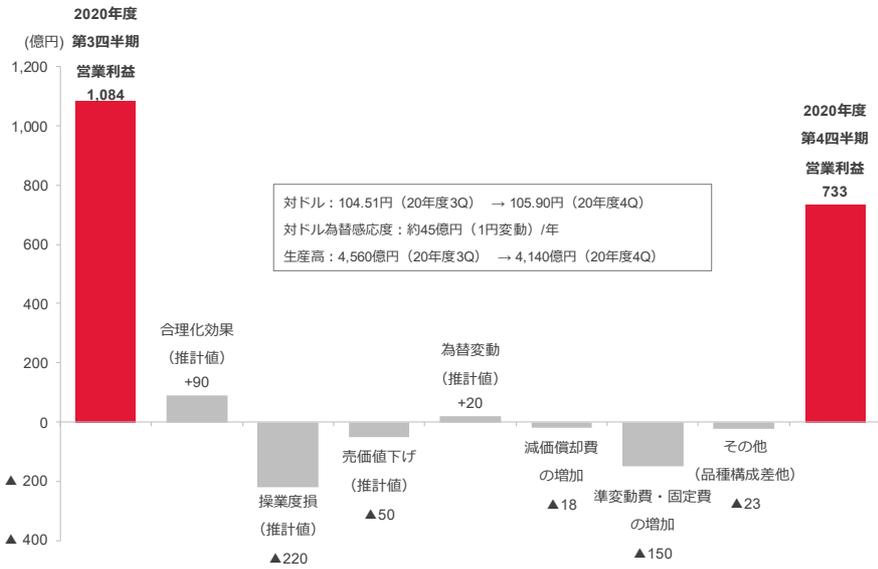
補足

業績概況 [2020年度第3四半期→2020年度第4四半期]

muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS

	2020年度 第3四半期		2020年度 第4四半期		増減	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上高	4,686	100.0	4,095	100.0	▲591	▲12.6
営業利益	1,084	23.1	733	17.9	▲351	▲32.3
税引前四半期純利益	1,063	22.7	769	18.8	▲294	▲27.7
当社株主に帰属する 四半期純利益	765	16.3	607	14.8	▲157	▲20.6

利益変動要因 [2020年度第3四半期→2020年度第4四半期]



対ドル：104.51円（20年度3Q） → 105.90円（20年度4Q）
 対ドル為替感応度：約45億円（1円変動）/年
 生産高：4,560億円（20年度3Q） → 4,140億円（20年度4Q）

※ 営業度損は売値値下げ・為替変動の影響を除いた生産高をもとに計算しております。
 ※ 標準変動費・固定費の増減には、減損損失等の一時費用の影響が含まれております。

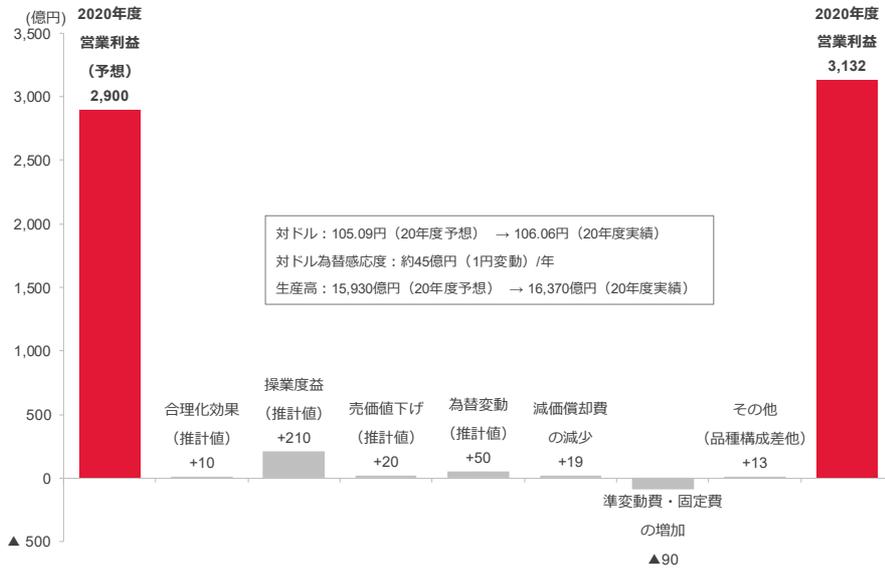
補足

業績概況 [2020年度通期予想→2020年度通期実績]

muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS

	2020年度 通期予想		2020年度 通期実績		増減	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上高	15,700	100.0	16,302	100.0	+602	+3.8
営業利益	2,900	18.5	3,132	19.2	+232	+8.0
税引前当期純利益	2,910	18.5	3,164	19.4	+254	+8.7
当社株主に帰属する 当期純利益	2,160	13.8	2,371	14.5	+211	+9.7

利益変動要因 [2020年度通期予想→2020年度通期実績]



※操業度損益は売値値下げ・為替変動の影響を除いた生産高をもとに計算しております。
 ※標準変動費・固定費の増減には、減損損失等の一時費用の影響が含まれております。

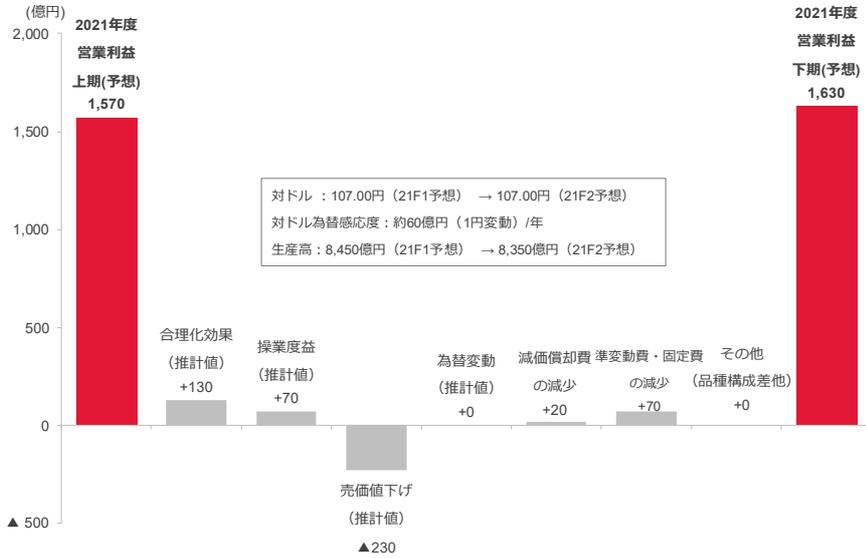
補足

業績概況 [2021年度上期予想→2021年度下期予想]

muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS

	2021年度 上期予想		2021年度 下期予想		増減	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上高	8,470	100.0	8,130	100.0	▲340	▲4.0
営業利益	1,570	18.5	1,630	20.0	+60	+3.8
税引前当期純利益	1,580	18.7	1,640	20.2	+60	+3.8
当社株主に帰属する 当期純利益	1,180	13.9	1,220	15.0	+40	+3.4

利益変動要因 [2021年度上期予想→2021年度下期予想]



※操業度損益は売値値下げ・為替変動の影響を除いた生産高をもとに計算しております。

補足

財務データ(1/3)

muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS



(億円)

	2018年度				2019年度				2020年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	3,455	4,429	4,276	3,590	3,576	4,034	4,102	3,629	3,268	4,252	4,686	4,095
営業利益	482	913	856	417	626	588	795	524	513	802	1,084	733
税引前四半期純利益	499	928	797	449	632	616	780	513	539	792	1,063	769
当社株主に帰属する 四半期純利益	390	693	601	385	468	439	561	362	396	603	765	607
設備投資	777	788	727	624	529	620	814	854	402	438	489	639
減価償却費	269	305	323	347	336	346	357	364	340	359	357	375
研究開発費	260	243	251	262	261	253	247	264	248	262	244	263
対ドルレート(円)	109.07	111.46	112.90	110.21	109.90	107.35	108.76	108.97	107.62	106.22	104.51	105.90

補足

財務データ(2/3)

muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS

(億円)

	2018年度				2019年度				2020年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
製品別 売上高	コンデンサ	1,265	1,472	1,583	1,423	1,377	1,378	1,457	1,382	1,345	1,561	1,673	1,687
	圧電製品	381	385	321	300	314	319	336	323	264	344	320	366
	その他コンポーネント	938	1,083	992	909	924	986	928	792	774	1,013	1,070	1,020
	コンポーネント計	2,583	2,939	2,896	2,632	2,615	2,683	2,722	2,498	2,382	2,918	3,062	3,072
	モジュール	865	1,482	1,371	950	952	1,343	1,370	1,121	879	1,328	1,618	1,016
売上高計	3,448	4,421	4,266	3,582	3,567	4,025	4,092	3,619	3,262	4,245	4,680	4,089	
用途別 売上高	A V	173	197	175	150	169	177	148	116	154	207	184	173
	通信	1,574	2,355	2,133	1,546	1,639	2,121	2,261	1,900	1,592	2,221	2,477	1,759
	コンピュータ及び関連機器	564	653	680	595	586	606	581	532	680	713	745	777
	カーエレクトロニクス	596	630	660	685	668	661	662	644	428	664	800	839
	家電・その他	541	586	619	606	506	460	439	426	407	440	473	540
売上高計	3,448	4,421	4,266	3,582	3,567	4,025	4,092	3,619	3,262	4,245	4,680	4,089	
地域別 売上高	南北アメリカ	389	763	751	456	472	579	458	387	286	487	552	380
	ヨーロッパ	329	322	332	415	361	317	304	338	212	318	350	383
	中華圏	1,810	2,315	2,161	1,657	1,727	2,081	2,372	1,921	1,988	2,441	2,764	2,318
	アジア・その他	603	664	642	684	630	696	608	646	487	677	628	629
	海外計	3,131	4,064	3,886	3,212	3,190	3,673	3,743	3,293	2,972	3,923	4,295	3,710
日本	318	357	380	369	378	353	349	326	289	322	385	378	
売上高計	3,448	4,421	4,266	3,582	3,567	4,025	4,092	3,619	3,262	4,245	4,680	4,089	

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

40

(億円)

		2018年度				2019年度				2020年度			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
コンポーネント	売上高	2,686	3,056	2,982	2,676	2,717	2,788	2,852	2,625	2,456	3,008	3,150	3,140
	事業利益	626	875	849	772	675	501	689	631	589	792	914	835
モジュール	売上高	865	1,482	1,371	950	952	1,343	1,370	1,121	879	1,328	1,618	1,016
	事業利益	▲5	169	140	▲159	79	179	219	17	69	148	329	▲4
その他	売上高	244	336	208	236	169	154	140	129	144	168	151	147
	事業利益	29	34	22	21	15	16	12	15	19	20	19	19
消去又は本社部門	売上高	▲340	▲445	▲285	▲272	▲264	▲251	▲260	▲247	▲211	▲252	▲233	▲208
	本社部門費	▲168	▲165	▲155	▲216	▲143	▲108	▲125	▲139	▲164	▲159	▲179	▲117
連結	売上高	3,455	4,429	4,276	3,590	3,576	4,034	4,102	3,629	3,268	4,252	4,686	4,095
	営業利益	482	913	856	417	626	588	795	524	513	802	1,084	733



muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS